

大阪 あそ歩

OSAKA
ASOBO®

① 寺田町駅

寺田町という地名の由来は、四天王寺に隣接していて、寺社領の田んぼがあったことからと言われています。江戸時代には天王寺かぶらなどが栽培され、与謝蕪村が「名物かぶらの中の 天王寺」と詠んでいるほど美味しかぶらとして有名でした。

② 亀田越奈良街道

大阪と奈良を結ぶ奈良街道の一つで、龍田大社付近を越えることから「亀田越」とよばれています。飛鳥時代に、難波津・四天王寺と斑鳩里・法隆寺を結ぶ街道として整備されました。聖徳太子ゆかりの地域が多く、聖徳太子自身もこの街道を往復していたといわれています。現在は国道25号が踏襲しています。

③ 猫間川

平野川の支流ですが、昭和32年(1957)頃に、暗渠化されて下水管となりました。その昔は「高麗川」(こまがわ)と呼ばれていたのが、訛って「猫間川」になったとも言われ、その昔に猪飼津に住んでいた渡来人たちの影響などがうかがえます。

④ 源ヶ橋(げんがばし)

その昔、猫間川の渡し守で源兵衛という男がいましたが、じつは通行人を殺めて金品を強奪する悪党でした。ところがある日、いつものように殺してしまった旅人が長年、行方を探していた実の息子でした。深く後悔した源兵衛は、出家して有源上人となり、罪滅ぼしとして貯めていた悪銭で、猫間川に伽羅香木の橋を架けました。これが橋名の由来です。残念なことに猫間川が暗渠化された時に撤去されて、現在は交差点の名前だけが残っています。

⑤ 生野商店街(みこし通り商店街)

源ヶ橋から生野八坂神社まで東西約1kmに及ぶアーケード商店街です。西から生野本通商店街、生野中央商店街、生野本通センター街、ベルロード中銀座商店街、生野銀座商店街の5つで構成されています。昭和初期に開業した大阪市設生野公設市場などが前身で、戦前から現在にいたるまで、地域住民に愛されている商店街です。

【注意事項】 この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内)「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそ歩」でネット検索を。

ありがたや西国巡礼ができるまち

～寺田町から舍利尊勝寺へ～

⑥ 沖見地蔵尊

文化8年(1811)、罪業を悔いて出家した有源上人が、猫間川で水難した人々の菩提を弔うために、地蔵尊を建てました。もともとは源ヶ橋のほとりにあって、猫間川のほうを向いていましたが、これも猫間川の暗渠化工事の際に現在の場所に移されました。

⑦ 源ヶ橋温泉

昭和12年(1937)に完成して、平成10年(1998)10月に銭湯建築として初めて国の登録有形文化財に指定されました。入口の左右には、源ヶ橋の欄干を模して作られた石柱の看板があります。その上部、窓の両端には2体の「自由の女神」が立っていますが、これは「ニューヨーク」と「入浴(にゅうよく)」をひっかけたものと言われています。



⑧ 疎開道路

生野区を南北に走る約3.5kmの通りで、正式名称は「豊里矢田線」。太平洋戦争末期の昭和19年(1944)、そこに住んでいた家や店などを取りこわし、人も建物も「疎開」させて、道路を拡張して空き地化したことから、現在も「疎開道路」と呼ばれています。

⑨ 生野八坂神社

素戔嗚尊(すさのおのみこと)を祀っていて、もともとは摂津国東成郡林寺村(旧地名)の氏神として鎮座していました。創祀年代については諸書に「元禄二巳年(1689)勧請」とありますが、他にも諸説があって定かではありません。顔の輪郭がぼやけてしまった年代ものの狛犬や、境内にある大楠(大阪市指定保存樹)は見物です。

⑩ 桑津街道

上町台地の細工谷を起点として桑津神社に至る街道です。仁徳天皇が高津宮から、桑津に住む髪長媛(かみながひめ)に会いに、よくこの街道を通ったといひます。古くから養蚕が盛んで、桑畑が広がっていたことから、桑津という地名がついたといわれています。

⑪ 千寿堂春蘭

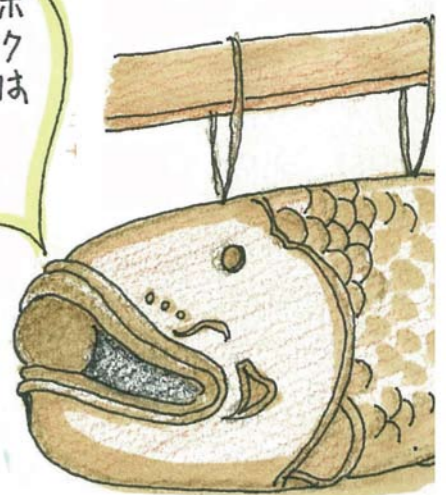
昭和24年(1949)創業の和菓子屋で、代表的銘菓は「御勝山」。御勝山とは、桑津街道沿いにある古墳のことで、大坂冬の陣において、徳川家2代将軍・徳川秀忠の本陣になり、その戦勝を記念して、それまでの名称の「岡山」を改めて「御勝山」と称しました。

⑫ 舍利尊勝寺

正式名称は「南岳山舍利尊勝寺」。黄檗宗に属していて、本尊は聖観世音菩薩です。その昔、用明天皇(在位585～587)のころに、このあたりに生野長者と呼ばれる富豪が住んでいましたが、言葉の不自由な息子が生まれて悩んでいました。そこで聖徳太子に相談すると、太子は子供にむかって「わたしが前世に預けた3つの仏舎利を返しなさい」と問いました。すると、子供は口の中から3つの舎利を出して、それからは普通に話せるようになりました。太子は3つの舎利を、四天王寺、法隆寺に納めて、残りの舎利を長者に渡しました。これに感激した長者は、舍利寺を建立したといわれています。生野という地名は、この生野長者の物語から来ています。



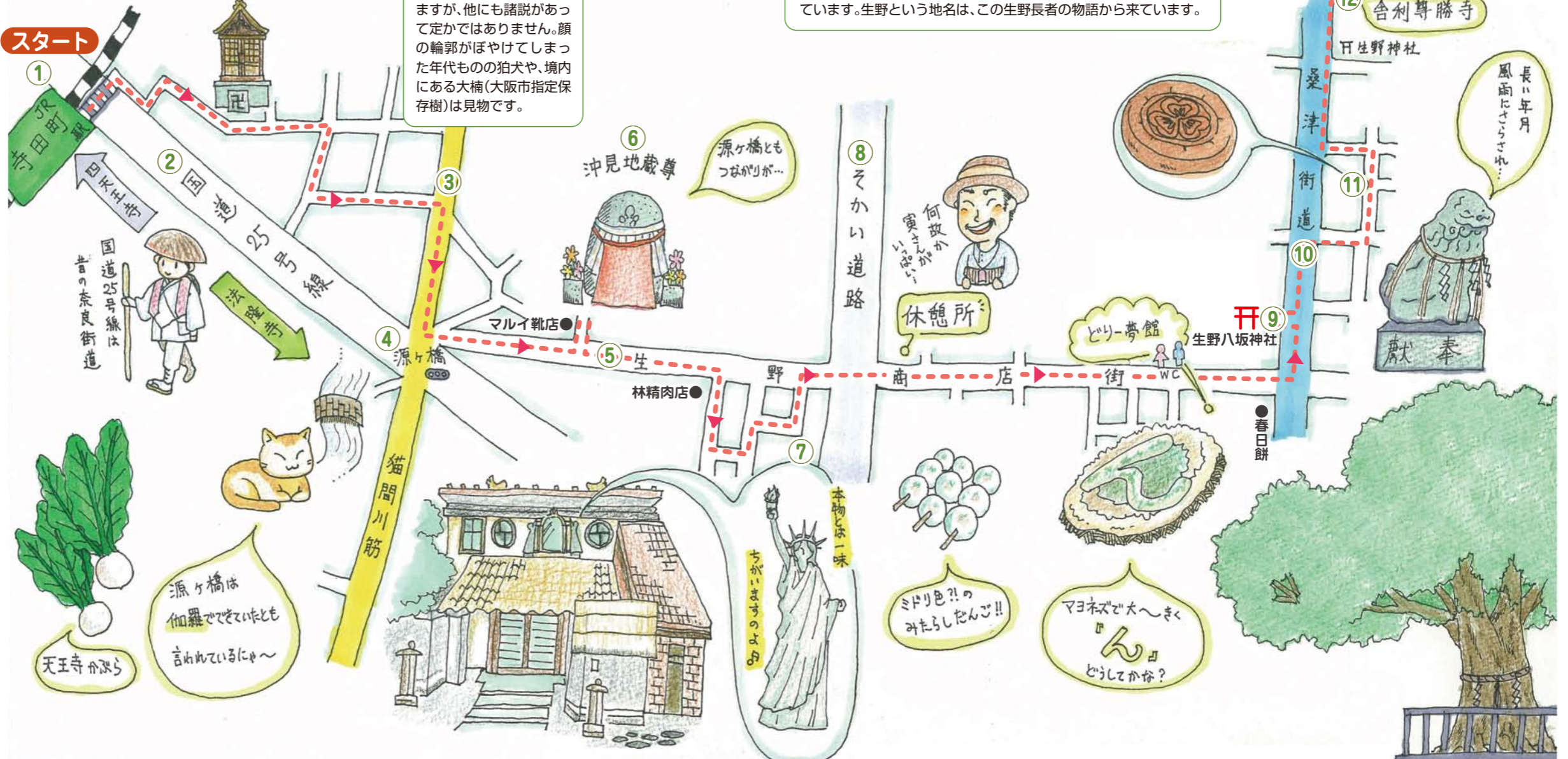
ボクはどこにいるかな?



ゴール

⑫ 舍利尊勝寺

長い年月 風雨にさらされ...



大阪あそ歩のコースは約2～3km、2～3時間程度を基準として作成されています。